

中小企業大学校広島校における企業向け研修に係る業務及び  
施設の運営等業務民間競争入札の落札者の決定について

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）は、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）に基づき、中小企業大学校広島校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務民間競争入札を実施し、次のとおり落札者を決定しました。

1. 落札者の名称： 広島あゆみらい協同事業体  
（構成事業者：麻生教育サービス株式会社(代表者)、広島県ビルメンテナンス協同組合、株式会社現代フードサービス)
2. 落札金額：436,114,791円（税込み）  
※落札金額は、研修委託費単価に研修人日数の要求水準値の3事業年度分（8,110人日）を乗じて得た金額及び施設維持管理・運営業務委託費の総価。
3. 落札者決定の経緯及び理由  
「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務民間競争入札実施要項（以下「実施要項」という。）」に基づき、入札参加者（1者）から提出された企画書について、審査した結果、入札参加資格を満たし、かつ必須審査項目を満たしていたことから、質（企画内容）に関する評価点を付与した。  
また、平成23年4月27日に開札したところ、予定価格の制限の範囲内であったため、質（企画内容）に関する評価点と価格点を加算して得た値が最も高かった1者が落札者となった。
4. 落札者における当該公共サービスの実施体制及び実施方法の概要
  - (1) 実施体制  
統括責任者以下、研修業務については企画営業、運営の各業務に、施設管理業務については清掃、設備等各業務に、それぞれ担当者を配置し合計32名（非常勤を含む）で実施する。
  - (2) 実施方法  
実施要項及び入札仕様書等に基づいて実施することとなるが、例えば利用者の募集については、次のような実施方法を企画している。  
研修受講者の募集については、個別企業訪問、ダイレクトメール送付、大学校ホームページやメールマガジンによる告知、地方公共団体及び中小企業支援機関等との連携などにより募集・広報活動を行う。また、施設利用者の募集については、業界の組織力を活用し、ビルメンテナンス協会、組合及びそれらに所属する構成員のホームページへのリンク、それらの構成員等の営業担当者による顧客等への営業活動などにより告知を行う。